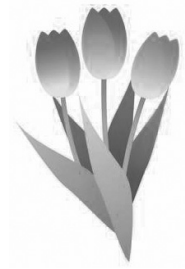


農業



令和5年4月号
会誌 No. 1702

目次

巻頭言

農業界にも新人研修を……………合瀬 宏毅 3

論壇

「乾燥野菜」のおいしさに感動……………谷口亜樹子 4

秋期中央農事講演会

「みどりの食料システム戦略」の展開について……………岩間 浩 6

表彰農家訪問

三代にわたり育苗技術を継承し、緻密な生産計画により……………八巻 正 23
野菜苗・花壇苗の高品質・大量生産を実現
—兵庫県姫路市に山口園芸・山口幹男さんを訪ねて—

食を楽しむ

フルーツにはおいしい幸せが詰まっている……………戸崎 勇人 31
—なぜ、朝ドラ『舞いあがれ』の舞台、五島を故郷にもつ
私がフルーツ専門店をやっている？—

研究の最前線

ニホンナシジョイント栽培の開発と今後の展望……………柴田健一郎 32
—偶然の着想がこの生産の危機を救えるか—

農業・農村の現場から

施設野菜・花きとラッキョウの多品目複合経営で……………石原 俊幸 42
地域農業をけん引
—鳥取県北栄町・(株)ファーム山脇の取り組み—

世界の農業は今

食料・農業のための植物遺伝資源に関する……………横井 幸生 48
国際ルールの議論の動向

私の経営と志

宮崎県日南市でイチゴ観光農園・ズッキーニ生産……………渡邊 泰典 54
—家族史上最高の思い出をつくる—

農家の気持ち

6次産業化で、農業はもっと魅力的にできる！……………秋竹 新吾 56

表彰

令和4年度大日本農会賞の受賞者…………… 57
第61回全国青年農業者会議プロジェクト発表・…………… 61
農業青年の意見発表等受賞者
令和4年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・…………… 63
意見発表会の受賞者について

統計情報

2022（令和4）年産カンショの作付面積及び収穫量…………… 64

農政情報

…………… 65

編集部から…………… 65

大日本農会だより…………… 66

会誌『農業』に関するアンケート

表紙写真説明

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の実践地 東山の風景 (静岡県掛川市東山地区)

粟ヶ岳^{あわ}の山の斜面に描かれた大きな「茶文字」。1932年に地元の人たちの提案で作られました。縄に白い布をつけて遠くから眺め、手旗信号で位置を確認しながら一本一本松を植えて作られました（現在は二代目のヒノキです）。茶文字の周辺は「茶草場^{ちやくさば}」として管理され、美しい「茶文字」とともに今日まで守られています。春には満開の桜や、新芽が芽吹いた茶畑が美しく、冬には雪化粧をまとうこともあります。

「茶草場」とは、茶園に有機物として投入するススキやササなどの草を刈り取るための半自然草地のことで、希少な動植物が生息する場にもなっています。静岡県の掛川市、菊川市、島田市、牧之原市、川根本町の4市1町では、静岡県の特産品であるお茶を、茶園の畝間にススキやササを主とする刈敷きを行う「茶草場農法」と呼ばれる独自の伝統農法で栽培している方がいます。茶草を敷くことで、お茶の味や香りが良くなると言われており、茶業と生物多様性が両立していることから、2013年5月に世界農業遺産に認定されました。

（写真：掛川市産業経済部お茶振興課 杉山 仁木、文：静岡県経済産業部農業局 お茶振興課 渡辺 駿介）